

これって大丈夫？④ ～ほめているつもりでも～

上手にできたよ。
きれいに片付けたよ。

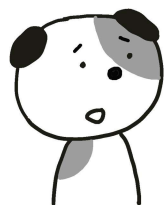
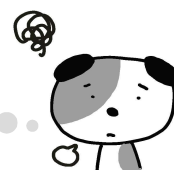
と、こどもが言ってきたとき、どんな風に応えていますか。

上手だけど、こうすればもっと
よくなるんじゃない。

上手にできたと思ってた
けど、そうでもないのか。

すごいね。やればできるんだから、
いつもやればいいのに。

いつもやらなきゃ
ダメかあ・・・



「もっとできるはず！」は「今のままではダメ」というメッセージにもなり得ます。
「今のまま」を認め、「共感と感謝」を込めて、こどもの成長を喜ぶ気持ちをまっすぐ伝えましょう。



「上手にできたよ！」
「すごいでしょ。」
エッヘン！」

共感・感謝

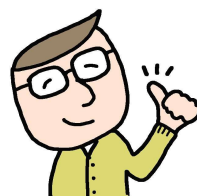


「すごいのができたね！」
「素敵に作れて嬉しいね。」
「見せてくれてありがとう。」



「片付けたよ！」
どう？」

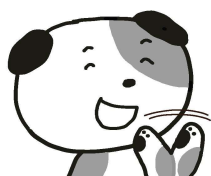
共感・感謝



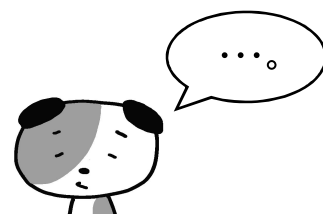
「きれいだと気持ちいいね。」
「ありがとう。助かるよ！」

今できていることをシンプルに認められると、こどもは「今の自分でいいんだ」と自信を持てるようになります。自信はやる気を起こさせ、やる気がこども自身を大きく育てます。

また、こどもが人からほめられた時に、大人は謙遜のつもりでいろいろと言ってしまいがちです。



「そんなことないですよ。」
「たいしたことないです。」
「いつもは全然やらないんですよ。」



これでは、せっかくほめられたのに、かえってけなされるような結果になってしまいます。
ほめられたのはこどもであることを忘れずに「ほめられてうれしいね。」と、こどもの気持ちに共感し、
ほめてくれた人には「ありがとうございます。」と
感謝を伝えると良いですね。

